

# 平成29年度 大垣市教育振興基本方針評価委員会 第2回会議録

- 1    **と き**      平成29年7月11日（火） 9:30～11:40
- 2    **と ころ**    大垣市役所北庁舎北館1階    教育委員会室
- 3    **出席者**    平野順一委員長、田村弘司委員、三代広子委員、  
高橋美和子委員、酒井俊亘委員、馬淵敬子委員
- 4    **事務局**    山本教育長、安田事務局長、山下庶務課長、細江学校教育課長、  
稲川教育総合研究所長、藤社会教育スポーツ課長、  
中井文化振興課長兼守屋多々志美術館館長、鈴木文化振興課文化財専門官、  
大谷上石津地域教育事務所長、加藤墨俣地域教育事務所長、  
中山南部北部学校給食センター所長、奥田図書館長、  
高木まちづくり推進課長、杉田市民活動推進課長、  
浅井子育て支援課長、坂子育て総合支援センター所長  
伊藤庶務課主幹、大橋庶務課主査
- 5    **傍聴者**    なし
- 6    **議 題**  
 (1) 平成28年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について
  - ① 社会教育（生涯学習）分野
  - ② 生涯スポーツ分野
  - ③ 芸術文化・文化財分野

## 7 会議録

開会 9:30

| 発言者     | 発言内容                                                                                                                   |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 山下 庶務課長 | 本日は大変お忙しいところ、平成29年度大垣市教育振興基本方針評価委員会の第2回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます大垣市教育委員会庶務課長の山下でございます。よろしくお願いいたします。 |

| 発言者              | 発言内容                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  | それでは、はじめに、山本議教育長よりごあいさつ申し上げます。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 山本 教育長           | 本日は、大変お忙しいところ、平成29年度の大垣市教育振興基本方針評価委員会の第2回会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。第1回の会議におきましては沢山のご意見をいただきました。特に図書館のレファレンスにつきましては、温かいご配慮をいただきました。また、これからの改善の方向についてもご示唆をいただきました。今日の会議では、社会教育分野、生涯スポーツ分野、芸術文化・文化財分野について点検・評価を行っていただくわけですが、前回同様忌憚のないご意見をいただきたいと思います。短い時間ではありますが、大垣市の教育のためにご協力をお願いいたします。 |
| 山下 庶務課長          | ありがとうございました。次に、次第の3、議題に移らせていただきます。これより進行は平野委員長様にお願いいたします。                                                                                                                                                                                                                           |
| 平野 委員長           | 議事に入ります前に、本日の会議につきましては、個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。また、本日は傍聴人の方は、いらっしゃいません。それでは、議題の(1)「平成28年度大垣市教育振興基本方針の施策の実施状況について」社会教育分野について、事務局から説明をお願いいたします。                                                                                                                |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | 〈資料説明〉<br>別添資料No.2－大垣市教育振興基本方針評価シート（社会教育振興計画）                                                                                                                                                                                                                                       |
| 三代 委員            | 学校支援コーディネーターの仕事内容を教えてください。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | 地域の方と学校とのつなぎ役が主な仕事になります。学校支援ボランティア活動の調整や、地域の方への働き掛けや、学校ではどんなボランティアをして欲しいかを聞き、それを地域に繋ぐ役割をいただいています。                                                                                                                                                                                   |
| 平野 委員長           | 学校支援コーディネーターは、小学校にも中学校におられるのですか。                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | 小学校、中学校ともに配置しておりますが、社会教育推進員が兼務する場合もあります。                                                                                                                                                                                                                                            |
| 高橋 委員            | どんな方がされているのですか。                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | 連合自治会長さんや社会教育推進員さんに、コーディネーターにふさわしい方をご紹介いただいております。                                                                                                                                                                                                                                   |
| 酒井 委員            | 学校支援ボランティアの方に、読み聞かせや本の選定をしていただい                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 発言者              | 発言内容                                                                                                                                                                              |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  | たりしています。学校のミシンを点検するのが非常に大変ですがその点検もしていただけて助かっております。実際の授業でもミシンの個別指導いただいています。コーディネーターがどんな方かという、元保護者や元教員です。                                                                           |
| 平野 委員長           | この数字をみると、進展状況が遅いように思いますが。                                                                                                                                                         |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | 小学校は配置されているのですが、中学校は小学校区がまたがっていますので、それをまとめるコーディネーターを人選することが難しいです。                                                                                                                 |
| 田村 委員            | 中学校でのコーディネーターのニーズはありますか。                                                                                                                                                          |
| 山本 教育長           | 中学校でもニーズはあると思います。子どもたちの外掃除もありますが、草の管理も大変ですし、他にもやっていただける活動も結構あると思います。コーディネーターさんを見つけるのが大変だと思います。                                                                                    |
| 田村 委員            | 本市でも退職教員が500人以上いると思いますが、そういう方をお願いできたらいいなと思います。                                                                                                                                    |
| 高橋 委員            | 今度地元の学校のボランティアで除草作業に行くのですが、そこは校長先生が頑張ってみえて、PTAのOBの方に声をかけて上手くネットワークを作ってみえます。                                                                                                       |
| 平野 委員長           | コーディネーターやボランティア、指導員や相談員などいろんな名称がありますがどんな違いでしょうか。                                                                                                                                  |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | コーディネーターは、学校と地域との調整役で、教育委員会が委嘱をしています。ボランティアは登録だけで委嘱はしていません。                                                                                                                       |
| 稲川 教育総<br>合研究所長  | 相談員は、不登校やいじめなどの相談員のことで、ほほえみ相談員といいます。市内の小中学校に21名雇用しています。                                                                                                                           |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | 学習支援は、学習習慣をつけるために教員OBや学生さんなどに、週1回程度、放課後に勉強を教えていただくボランティア事業です。                                                                                                                     |
| 高橋 委員            | P15のかがやき成人学校講座の参加者数が増えた要因はなんですか。また、人気のある講座はどんなものですか。                                                                                                                              |
| 杉田 市民活<br>動推進課長  | 講座の募集は年2回あります。その際、講座の一覧表を広報に折り込みし全戸配布していたのを、平成27年度は止めました。それが原因で参加者数が減りましたが、平成28年度は全戸配布を再開したところ、元の受講者の数値に戻りました。<br>人気の講座については、60代、70代の方が受講のメインですので、健康に関する講座になります。ヨガや太極拳、社交ダンスなどです。 |

| 発言者          | 発言内容                                                                                                                                           |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | 若い方にも受講していただけるよう考えていきたいと思っています。                                                                                                                |
| 平野 委員長       | 市民アンケートでは、上石津地域で講座が少ないとありましたが、上石津地域や各地域の公民館で講座があると思います。その件数を入れれば、市民の方がどのくらい学習したいかでてくる気がします。                                                    |
| 杉田 市民活動推進課長  | そうですね。評価シートの件数は市主催のものだけになります。                                                                                                                  |
| 田村 委員        | P18の高等教育機関との連携はどんなことをしていますか                                                                                                                    |
| 藤 社会教育スポーツ課長 | 岐阜大学の教授に社会教育委員になっていただきアドバイスをいただくほか、昨年度は、岐阜経済大学の教授に、大学と連携した社会教育についてのお話をいただいたりしています。                                                             |
| 田村 委員        | 市と大学で連携教育はやっていますか。                                                                                                                             |
| 杉田 市民活動推進課長  | かがやきカレッジといいまして、岐阜経済大学にお願いいたしまして、年間8～10ぐらいの講座を大学で開いていただいております。<br>今年は、岐阜経済大学と大垣女子短期大学が合併し総合学園となりましたので、大垣女子短期大学の先生に2回講座をやっていただきます。               |
| 田村 委員        | 学校教育と別のところで、子どもたちの個性の伸長のための講座がありますか。                                                                                                           |
| 藤 社会教育スポーツ課長 | 「スイトピア子どもクラブ」として、小学生を対象に、月1回土曜日に、科学や化学、造形、自然体験などの講座を開催しています。                                                                                   |
| 田村 委員        | 岐阜市ですと、ドリームシアター岐阜など、そこに行けば子ども向けイベントなど何かしらやっていて、親さんは安心してそこに子どもさんを送れます。大垣市で言えばスイトピアセンターになると思いますが、時々内容も変えていただいて活用していただきたいと思います。そういう所は非常に大事だと思います。 |
| 馬淵 委員        | 大垣市の施設もワークショップがもっと増えるといいと思います。                                                                                                                 |
| 藤 社会教育スポーツ課長 | 「まるごと土曜学園」として、各地区センター等で、地域の方が子どもたちに、お茶やお華、ダンスなどを教えていただいている土曜日の子どもの居場所づくりの事業を支援しています。子どもたちにとって、身近な場所で活動の場があることはとても好評です。                         |
| 馬淵 委員        | スイトピアセンターでの子どもたちの入場料はどうなっていますか。                                                                                                                |
| 中井 文化振興課長    | 無料です。コスモドームは大人500円お金がかかりますが、4月から半額の250円になりました。                                                                                                 |
| 酒井 委員        | ハツラツ市などで、さくら高校とコラボしてお菓子などを販売してみ                                                                                                                |

| 発言者           | 発言内容                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | えませんが、そういう連携はどうですか。                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 杉田 市民活動推進課長   | お菓子屋さんが独自で連携してみえます。                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 浅井 子育て支援課長    | 岐阜経済大学の方にお願ひして、学習支援ボランティアをしていただいています。ひとり親家庭の小学生を対象にイベントハウスで毎月2回勉強を教えていただいています。                                                                                                                                                                                                                |
| 坂 子育て支援センター所長 | 大垣女子短期大学と連携して、出産されて子育て中のお母さん方を対象に講座を開いていただき、合わせて、託児では学生さんに実際に子どもの面倒をみていただいております。                                                                                                                                                                                                              |
| 平野 委員長        | それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 各委員           | 異議なし                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 平野 委員長        | 総合評価については、事務局案のようにさせていただきます。次に、②の「生涯スポーツ分野」について、事務局から説明をお願いいたします。                                                                                                                                                                                                                             |
| 藤 社会教育スポーツ課長  | <p>&lt;資料説明&gt;</p> <p>別添資料No.2－大垣市教育振興基本方針評価シート（大垣市第2次スポーツ推進計画）</p>                                                                                                                                                                                                                          |
| 高橋 委員         | <p>全市民がスポーツに関わって、最終的には健康寿命を延ばすのが目標ですが、P38 の意識的に運動している人の割合が 42.7%から 37.5%に下がったことが残念です。アンケートを見ると 30 代 40 代で下がってようやく 50 代で上がってきています。30 代 40 代に推進していきたいです。</p> <p>P44 の体育施設の利用（設備・環境）の満足度が下がってC評価になっていますが、施設の老朽化が原因としてありますか。</p>                                                                  |
| 藤 社会教育スポーツ課長  | <p>30～40 代のスポーツ実施率と、お子さんのおられる方の実施率が低くなっています。仕事も子育ても忙しい年代に、いかにスポーツをしていただけるかを考えており、体育連盟と連携して、親子でスポーツをしてもらうために、親子でのスポーツ教室などを実施しています。また、スポーツ推進委員協議会でお世話になっている「みんなのスポーツ」があり、元気ハツラツ市などで、軽スポーツ、輪投げや縄跳び、ボールを投げたり、誰でもできるスポーツを推進し、スポーツをやっていただくきっかけづくりにしています。</p> <p>施設につきましては、老朽化が進んでおり、アンケートでは、トイレ</p> |

| 発言者              | 発言内容                                                                                                                       |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  | の洋式化や施設の付加価値をつけてほしい要望はありますが、まずは安全安心を最優先に予算配分しております。                                                                        |
| 高橋 委員            | 大垣城ホールはスポーツだけではなく、環境フェスティバルなどでも使用される利用度の高い施設ですがトイレや授乳室の問題があります。                                                            |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | 大垣城ホールもかなり老朽化が進んでいますが、どの施設も老朽化の問題がありますので、付加価値をつけるところまでは手がつかないのが現状です。                                                       |
| 三代 委員            | 学校の体育館は非常に使いやすくなっています。                                                                                                     |
| 田村 委員            | お子さんがみえる方のスポーツ実施率が低いので、子どもさんを気軽に預けられるようなことを考えるのも大切かと思います。                                                                  |
| 藤 社会教育<br>スポーツ課長 | 体育連盟で開催しているテニス教室などには、託児があり、お子さんを預けられるようになっています。                                                                            |
| 酒井 委員            | P41 の小中学校における水泳教室がありますが、学校に専門の方が来て頂いていますが、一緒に受ける教師も学べる非常に良い機会となっています。その一方で、スポーツテストで成績が良い子にバッチがもらえたのですが、それが今年からなくなったのが残念です。 |
| 馬淵 委員            | 体力調査結果の目標値は、毎年どんどん上がっていますが、どのように決定されていますか。体育が得意な子も嫌いな子もいるなかで、もっともっとと求められていますが。                                             |
| 細江 学校教育<br>課長    | 大垣市の小学生の体力結果は全国平均よりやや下、中学生はやや上です。全国平均との差で目標を決めていませんが、小学生はもう少し上を目指せるということで、無理な数値ではないと思っています。                                |
| 山本 教育長           | 平成 32 年には新たな計画を策定いたしますので、その際にはまた見直しをいたします。                                                                                 |
| 平野 委員長           | それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。                                                                                                  |
| 各委員              | 異議なし                                                                                                                       |
| 平野 委員長           | 総合評価については、事務局案のようにさせていただきます。次に、③の「芸術文化・文化財分野」について、事務局から説明をお願いいたします。                                                        |
| 中井 文化振<br>興課長    | ＜資料説明＞<br>別添資料No.2－大垣市教育振興基本方針評価シート（大垣市第 2 次文化振興計画）                                                                        |

| 発言者       | 発言内容                                                                                                           |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平野 委員長    | 芭蕉蛤塚忌全国俳句大会がありますが、俳句甲子園という名でやっている大会はどこかにありますか。                                                                 |
| 中井 文化振興課長 | 松山市で 8 月下旬に俳句甲子園をやっています。大垣市はこの地方予選をむすびの地記念館で開催しておりまして、今年は大垣商業高校が優勝し俳句甲子園に出場します。                                |
| 平野 委員長    | 甲子園と名がつくといろいろな所の高校生が参加していただけますので。                                                                              |
| 平野 委員長    | 文化の日に施設が無料になるということはあるですか。                                                                                      |
| 中井 文化振興課長 | 文化の日前後の教育文化週間では、県下全体で無料となる取り組みをやっておりますし、市独自にかがやき教育週間や水都っ子ウィークでは、保護者は半額としています。その他、元気ハツラツ市や大垣まつりなどでもサービスを図っています。 |
| 平野 委員長    | 以前は、歌舞伎の公演があったと思いますが、いまはないですか。                                                                                 |
| 山本 教育長    | 文化庁が主催で、実物の芸術文化に触れることができない地域で歌舞伎の公演がありましたが、最近大垣市では開催されていません。                                                   |
| 平野 委員長    | 劇団四季の公演は大垣市が呼んだのでしょうか。                                                                                         |
| 中井 文化振興課長 | 劇団四季が社会貢献事業として地方で開催していただくものです。地元企業さんにも協賛いただいている部分もあります。教育委員会では、学校と市民会館の送迎バス等を予算化しています。                         |
| 平野 委員長    | 指定管理のメリットはなんですか、                                                                                               |
| 中井 文化振興課長 | 5 年間の契約になりますので計画性と継続性を発揮できるところや、民間の視点でコストを削減できることです。                                                           |
| 平野 委員長    | 教育委員会としての意向は反映されていますか。                                                                                         |
| 中井 文化振興課長 | 本来、教育委員会が進める文化政策の一役を事業団が指定管理として行います。大枠は文化振興計画に基づいたものとなっています。                                                   |
| 平野 委員長    | 5 年間の間で、教育委員会の意向と違う方向へいかないようお願いしたいと思います。                                                                       |
| 中井 文化振興課長 | 管理に対するチェックは、市全体で指定管理に対する評価委員会で行っておりますし、月に 1 回事業団と連絡調整会議を行っております。                                               |
| 酒井 委員     | 日本昭和音楽村での世界的に有名なジャズの方の公演、大垣祭の軸行事は素晴らしいと思うのですが、マスコミを利用した広報はされますか。                                               |

| 発言者          | 発言内容                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中井 文化振興課長    | 最近では、観光の中に文化・歴史を取り入れながらPRをしています。                                                                                                                                                                                                             |
| 平野 委員長       | P55 に守屋多々志美術館美術品整備事業がありますが、スイトピアセンターにも、もっと古い作品があると思いますが。その整備はどうですか。                                                                                                                                                                          |
| 中井 文化振興課長    | 今回整備した生田敦盛の作品は昭和22年の作品ですので古い作品です。スイトピアセンターや学校、庁舎等にある作品についても順次コンディションチェックができるように仕組み作りをしています。                                                                                                                                                  |
| 平野 委員長       | それでは、総合評価についてはこれでよろしいですか。                                                                                                                                                                                                                    |
| 各委員          | 異議なし                                                                                                                                                                                                                                         |
| 平野 委員長       | それでは、全体を通じて何かありますか。                                                                                                                                                                                                                          |
| 高橋 委員        | アンケートでいい意見についても、関係者にフィードバックできたらいいと思います。                                                                                                                                                                                                      |
| 田村 委員        | アンケートの結果を公表できたらいいと思います。<br>家庭教育で親さんが悩んだときの相談窓口があるといいと思います。                                                                                                                                                                                   |
| 藤 社会教育スポーツ課長 | 元教員の家庭教育支援員が、学校や企業に出向き、家庭教育学級を支援しています。その際には「子育てサロン」を開催し、親さんの相談を受けています。                                                                                                                                                                       |
| 平野 委員長       | 時間もまいりましたので、審議はここまでとさせていただきたいと存じます。                                                                                                                                                                                                          |
| 山下 庶務課長      | 平野委員長様、ありがとうございました。皆さんありがとうございました。<br>それではここで、安田事務局長から挨拶申し上げます。                                                                                                                                                                              |
| 安田 事務局長      | 2日間に渡りありがとうございました。アンケートについては時間がかかりますが、内部的にはクロス集計などできたらいいなと思っております。公表については、アンケートに選ばれた特定の方だけの意見ですので、そういったものを公表するかどうかは今後検討していきたいと思います。<br>評価については、同じAであっても傾向が違っていたり、数字が上がったり下がったりしていますので、評価はAとしても、今後の事務についてしっかり検討していきたいと思っています。<br>ありがとうございました。 |
| 山下 庶務課       | ありがとうございました。                                                                                                                                                                                                                                 |



| 発言者 | 発言内容                                                                                                      |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 長   | ご承認いただきました、評価の結果につきましては、8月の定例教育委員会、9月の市議会で報告させていただきます。これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。本日は、ご出席賜り、誠にありがとうございました。 |

11:40